

さくらんぼ No.8



師走 ~自分のペースで走り抜ける~



さくら小学校 校長 大砂 直樹

早いもので師走に入り、もう年の瀬です。みなさんも、師走の「走り回るほどの忙しさ」を感じられているのではないでしょうか。

走ると言えば、先日、風の子フェスタを実施しました。大勢の応援の中、子供たちはしっかりと走り抜く姿を見せてくれました。2年生女子の部では、加藤志歩さんが新記録を樹立しました。1,100mのコースを4分49秒で駆け抜け、このペースはフルマラソンに換算すると、3時間4分の記録になります。素晴らしいスピードです。同様に、どの学年もトップ集団の記録はアスリート並みです。では、後方はどうか言いますと、フルマラソンで5時間15~30分ペースで走っています。愛媛マラソンの制限時間は6時間ですから十分にゴールできる速さです。子供たちの頑張りが分かります。

子供たち一人一人が自分のペースで力一杯走り抜けた風の子フェスタ。記録や順位だけでは測れない「成長」の姿がたくさんありました。学級の枠を超えて響いた声援と、走り終えて疲れ切りながらもどこか晴れやかな表情は、今年一年の頑張りを象徴しているように感じます。自分のペースでいいのです。ゴールは必ずやってきます。

来年も、一つ一つその時々のゴールに向けて頑張り抜く子供たちを期待しています。



冬休み「やる気」を引き出す家庭での学習環境づくり

教務主任 面田 龍夫

いよいよ冬休み。家族との大切な時間であると同時に、学校生活から離れることで生活リズムや学習習慣が崩れやすい時期でもあります。短い休みだからこそ、この機会にご家庭での学習環境を見直してみませんか？

大切なのは「勉強モードに切り替わる場所」があることです。テレビやゲームなど、誘惑が多い場所からは少し離れた、専用の学習コーナーを設けてみましょう。集中時間は短くとも、毎日必ずその場所に向かう習慣が重要です。

夜更かしになりがちな冬休みですが、起床時刻を学校がある日と大きく変えないことが鍵です。学習時間を午前に組み込むと、その後の時間を有効に使えます。例えば、「朝食後30分は必ず学習をする」といった短いルーティンから始めてみましょう。時間帯をカレンダーに書き出すのも効果的です。

学習環境は、学習効率だけでなく、子どもの心の安定にも繋がります。この冬休み、ご家庭で小さな工夫を積み重ねていただき、ぜひ実りある時間にしてほしいと願っています。ご協力に感謝申し上げます。